

桐生が岡動物園・遊園地の施設拡充・維持管理のための 資金調達策の実施について（新規）

桐生が岡動物園は昭和28年の開園以来、子供たちはもとより大人にも愛され親しまれ、動物に接することによる命の大切さが自然に身に付くなど、情操教育の場にもなっていました。

また、隣接する桐生が岡遊園地は、数々の大型遊器具・小型乗物を有し、その利用料金は最高でも200円と、大変リーズナブルな料金体系となっており、いずれの施設も桐生市内はもとより、広く関東エリアからも多くの方が来園される、桐生市を代表する観光スポットの一つとなっています。

現在、「ふるさと桐生応援寄附金」の使い道の一つとして「桐生が岡動物園の園内整備事業」が選べるようになっておりますが、今後も更なる園内施設の拡充や維持管理のための資金調達策として、市内外の方々が参加できるクラウドファンディングや寄附金制度の創設などの実施を要望いたします。

桐生市からの回答

桐生が岡公園（動物園・遊園地）の施設拡充や、維持管理のための資金調達の実施につきましては、現在、「ふるさと桐生応援寄附金」として「桐生が岡遊園地・動物園整備事業」を募集しているほか、「企業版ふるさと納税」として「桐生が岡動物園事業」を募集しております。

また、ネーミングライツの実施や募金箱の設置など、継続した取り組みにより、園内整備の財源確保に努めているところであります。

これらの財源を活用し、令和6年度において、動物園につきましては、カピバラ舎の建設に取り組んでいるところです。また、遊園地につきましては、バッテリーカー1台の更新を予定しております。

引き続き、園内の募金箱による募金のPRや、ふるさと桐生応援寄附金等の更なる周知活動をはじめ、新たな資金調達策としてクラウドファンディングや寄附金制度を調査検討していきたいと考えております。

[回答担当] 都市整備部公園緑地課公園管理係
都市整備部公園緑地課桐生が岡動物園